

学部 / 看護専門領域 / 看護の基本

科目コード : 130020

生活援助論Ⅱ Basic Nursing Skills Ⅱ

担当教員	田村幸恵、寺井梨恵子、三輪早苗、木森佳子				
実務経験	担当教員全員が看護師の実務経験を基に生活援助技術に関する知識・技術を教授する。				
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	演習
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	看護技術、日常生活援助、安全性、安楽性、自立性、個別性				
学習目的・目標	【学習目的】 対象にとっての日常生活行動の意義と援助に必要な基礎知識を理解し、安全・安楽・自立、および対象への配慮を踏まえた援助技術を身につけることを目的とする。 【学習目標】 1. 食の意義を理解し、食行動に制限・障害がある対象への基本的な援助を実施できる。 2. 排泄の意義を理解し、対象の羞恥心に配慮した排泄援助が実施できる。 3. 清潔の意義と援助方法を理解し、対象の安全・安楽を考えた清潔援助が実施できる。 4. 創傷の治癒過程を知り、創傷の予防や治癒促進への援助を理解できる。 5. 心肺蘇生法の基礎知識について理解できる。				
授業計画・内容					
回	内容				担当
1-2	食事援助技術(1)(2) 1) 食事の意義、食事援助のアセスメントの視点 2) 経口摂取の援助の方法 3) 食行動に制限・障害がある対象への食事援助				寺井
3-4	排泄援助技術(1)(2) 1) 排泄・排尿の意義とアセスメントの視点 2) 排泄の援助方法とその適応、倫理的配慮 3) 床上排泄、排泄用具を用いた援助方法				田村
5	清潔・衣生活援助技術(1) 1) 身体の清潔との意義、清潔・衣に関するアセスメントの視点、倫理的配慮 2) 入浴・シャワー浴の全身への影響 3) 衣生活援助の方法				田村 三輪
6	清潔・衣生活援助技術(2) 1) 寝衣交換				三輪
7	排泄援助技術(3) 1) オムツ交換				田村
8-9	清潔・衣生活援助技術(3)(4) 1) 清拭の適応、方法 2) 石鹸を使用した全身清拭				田村
10-11	清潔・衣生活援助技術(5)(6) 1) 頭皮・頭髪の汚れの特徴、洗髪方法 2) 床上での洗髪				田村
12-13	清潔・衣生活援助技術(7)(8) 1) 陰部の構造と汚れの特徴、陰部洗浄の方法 2) 足浴・手浴の身体への影響、足浴・手浴の方法 3) 坐位での足浴				三輪
14	創傷管理技術 1) 創傷治癒過程とメカニズム、創傷治癒を促進する援助 2) 褥瘡の発生と予防				木森
15	救命救急処置技術 1) 心肺蘇生法の基礎知識（一次救命処置）、止血法の援助の基礎知識				寺井
教科書	茂野香おる編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅰ，医学書院 任和子編集：系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ，医学書院 任和子，秋山智弥編集：根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術（第2版），医学書院				
参考図書等					
評価指標	レポート課題内容・取り組み姿勢（事前学習・事前学習）30%。筆記試験70%で評価する。				
関連科目	看護学概論、生活援助論Ⅰ、フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ、看護過程論、診療補助技術論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、解剖生理学、解剖生理学演習				
教員から学生へのメッセージ	看護の対象は生活者であり、その日常生活のあり方は個別の習慣・好み・心身の状況などが反映されるため、日常生活援助を提供する際は「個々の状況に適した方法を選択し実践できる力」が必要となります。その力を身に付けるために、各援助技術に関する基礎知識をしっかりと理解し、安全・安楽、自立を踏まえた援助を習得しましょう。生活援助論Ⅰ・Ⅱで学習した援助技術は、基礎看護学実習Ⅱでの看護実践につながります。				